



葉山町

議会だより

147号 令和4年1月18日発行



- 新年のあいさつ … 2
- 定例会報告 … 3
- 委員会レポート … 5
- 一般質問は12人が登壇 … 10

葉山町議会 検索



写真：「真名瀬漁港から望む富士山」

※表紙説明は裏面にあります。

新年おめでとう

ございます。

令和4年の年頭にあたり

葉山町議会を代表して

謹んでごあいさつを

申し上げます。



議長公約の着実な進捗と、 公共事業の動向を 注視する1年に



議長 待寺真司

議長公約の 実現に向けて

議会BCP(業務継続計
画)策定に向けて

地方自治法には地方議会の
権能が定められており、災害
発生時における権能を制約す
る定めはありません。しかし、

大災害発生時に早期の復興へ
つなげるという名目で、住民
生活に直結する補正や当初予
算の審議が行われず、専決処
分が乱発され、最も大切な予
算を決定する議決権の一部制
約を受けました。

そこで、災害時における地
方議会のあり方や、議員個々
人の行動に関して、一定のル

ールを決めておくことが重要
であるとの考えから、滋賀県
大津市議会が全国に先駆け平
成26年4月に議会BCPを制
定・発動しました。以降次々
と策定され、計画に基づく参
集・図上訓練や、災害発生時
には対策会議を開いて、議会
としての対応を図るようにな
りました。

葉山町議会としても、議会
の機能と権能を堅持するため、
災害発生が予見される段階か
ら、直後の初期期・中期・後
期・復旧期の行動指針を災害
別にまとめ、議事機関とし
ての対応と、議員という一住
民としての対応を即座に図る
ことを目的とし、策定するこ
とにしました。

令和4年第1回定例会にお
いて計画案を報告し、4月1
日に発動できるよう協議を続
けております。

議会基本条例の評価・
点検・改定に向けて

議会基本条例の評価等に向
けては、新型コロナウィルス
の影響もあり、先延ばしとな

っております。
令和4年度当初に視察実施
後、点検・評価を行い、昇華
させた改定条例を発令できる
よう進めます。

広聴機能の充実及び
町民憲章策定に向けて

コロナの影響を受け延期さ
れていた「町民との会議」で
したが、Zoomを利用した
会議の開催も行い、引き続き
積極的に実施いたします。

町民憲章策定については、
町制施行100周年に次の100年
のまちづくりの基礎となる町民
憲章が世に出せるよう、町民
と行政と三者で力を合わせて
取り組むきっかけづくりの1
年としたいと考えます。

まちづくり条例の
点検・改定に向けて

まちづくり条例が制定され
てから20年が経過し、これま
で条例を運用する中で判明し
た課題や問題点を洗い出す必
要性があると考えます。まず
は都市計画課や、まちづくり
審議会との意見交換の場を持

ち、点検することとしました。
高く評価できる点についても、
葉山の住環境に、より一層資
するものになるよう検討を加
えて参ります。

多額の経費を要する
公共事業

葉山町では現在取り組んで
いる公共事業の進捗状況が芳
しくありません。令和3年の
定例会や委員会所管事務調査
でも、幾度となく説明を求め、
質疑を行ってきました。しか
しながら情報不足もあり、議
会側の現況把握に以下3つの
事業に関する特別委員会を設
置して、議論を深める必要が
あるとの声があがっています。

- クリーンセンター再整備事
業
- 中学校給食実施事業及び学
校給食センター整備事業
- 臨御橋架け替え事業



第4回 定例会

11月30日から12月15日まで開催し、令和3年度補正予算、条例改正等の審議を行いました。

令和3年度葉山町一般会計補正予算(第5号)

歳入

国庫補助金

● 児童福祉費補助金

(1297万円)

民間事業者が行う小規模保育事業所の開設経費の一部を、町が補助することに対し

交付される(補助率9分の8)

● 疾病予防対策事業費等補助金

(106万円)

システム改修費に対して交付される

● 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金

(848万円)

3回目の接種体制整備に係る経費に対し交付される(補助率10分の10)

主な質疑

問 人件費も含まれるのか。

答 ワクチン接種に係る雇用経費等だが、正規職員は含まれない。

基金繰入金

公共公益施設整備基金繰入金

(1251万円)

都市計画道路五ッ合森戸線用地購入の財源とするための繰入金の増額

主な質疑

問 整備はいつ始まるのか。

答 県との協議が終わり次第工事に入る。

臨時財政対策債

(1億416万円)

借入金の増額に伴う増額

補正後の額 7億416万円

歳出

職員給与費他

(860万円)

給料・職員手当等の変動に伴う増額

基金積立金

(9千万円)

公共公益施設整備基金への積立
年度末現在高見込

13億5565万円

神奈川県町村情報システム共同事業 (798万円)
コロナ対策等のシステム改修経費事業負担金

教育・保育給付支給事業

(1459万円)

認可保育所等補助金

民間事業者が行う小規模保育事業所開設に要する経費の一部に対して補助金を交付する(補助率4分の3)

主な質疑

問 議会への状況説明が予算提示ギリギリとなった理由は。

答 運営体制や人材など、報告が整っていないかった。

問 近隣住民への説明は。

答 近隣や町内会に説明し、歓迎する言葉ももらったと聞いている。



新規認可保育園平面図

鳥獣保護管理対策事業

(12万円)

イノシシの捕獲実施者に支給する奨励金を支給する(補助単価1頭2千円・捕獲目標60頭分)

主な質疑

問 捕獲数が増えた場合は。

答 捕獲数精算となっている。

問 週及して支給できるのか。

答 様式が整った5月分から申請できる。

クリーンセンター再整備事業

(184万円)

クリーンセンター事務所を福祉文化会館へ移転するため要する経費

主な質疑

問 業者選定中の今議会に、補正予算を組んだ理由は。

答 福祉文化会館の改修と、要求水準書に移転を明記しており、事前準備のため。

問 福祉文化会館利用者への影響は。

答 動線を分ける等、利用者への問題はないと考える。

街路整備事業(1251万円)

都市計画道路五ッ合森戸線用地を購入する

所在地:葉山町堀内字葉山820番地4 60・73㎡



購入予定地

消防活動事業

(160万円)

令和4年4月1日付け新規採用職員(2人分)に係る被服及び装備品等を購入する

主な質疑

問 年度内3回の補正が組まれ、令和3年度当初予定外で計5人が退職となる。退職理由はさまざまだろうが、低い充足率自体を上げていく考えは。

答 どうしていくか協議していきたい。

令和3年度葉山町下水道
事業会計補正予算（第1
号）

収益的支出

（1497万円）

人事異動、給料・職員手当
等の変動に伴う増額

資本的支出

（746万円）

アセットマネジメント計画
に基づく施設修繕を行なう

主な質疑

問 浄化センターの修繕更新
の方針は。

答 機器類は耐用年数を超え
ている。故障により突発的な
修繕もあるが、更新はストッ
クマネジメント計画にのっと
って進めていく。



浄化センター更新箇所

葉山町一般職の職員の給
与等に関する条例及び葉
山町一般職の任期付職員
の採用等に関する条例の
一部を改正する条例

人事院勧告を勘案し、職員
の期末手当の支給率を改める
ため

主な質疑

問 国家公務員は、令和4年
にまとめて引き下げるそうだ
が、今回、町独自の考え方で
実施するのは一貫性がないの
では。

答 国は、衆議院の解散など
で、例年通りの対応ができな
いと聞く。県や他自治体の動
向を踏まえ判断した。

葉山町特別職の職員の給
与等に関する条例の一部
を改正する条例

一般職の職員の期末手当の
改定を勘案し、町長、副町長
及び教育長の期末手当の支給
率を改めるため

葉山町国民健康保険条例
の一部を改正する条例の
一部を改正する条例

新型コロナウイルス感染症
感染者の傷病手当金支給対象
となる期間を令和4年3月31
日まで延長するため

葉山町議会の議員の報酬
及び費用弁償等に関する
条例の一部を改正する条
例（議員提案）

提案説明

（土佐）

人事院勧告に伴う町の改正
の動向を勘案し、議員の期末
手当の支給率を改めるため

出産育児一時金の増額を
求める意見書（議員提案）

提案説明

（鈴木）

国に、出産育児一時金を現
在の負担に見合う形に引き上
げを求める意見書の提出を求
めるため



笑顔の新生児

令和3年度葉山町一般会
計補正予算（第6号）

歳入

国庫補助金

子育て世帯への臨時特別給
付金給付事業補助金
（4億3124万円）

新型コロナウイルス感染症
の影響を受けている子育て世
帯への生活支援のための給付
金・給付金支給に係る事務費
に対し交付される（補助率10
分の10）

歳出

子育て世帯への臨時特別給付
金給付事業

新型コロナウイルス感染症
の影響を受けている子育て世
帯への生活支援のため給付金
を支給する（4億3千万円）

ア 対象児童

平成15年4月2日生まれか
ら令和4年3月31日生まれま
で（世帯主の所得制限あり）
イ 支給額
1人につき10万円

主な質疑

問 960万円の所得制限では900

人が不支給になるとのことだ
が、町単費での所得制限撤廃
を検討したのか。

答 今回は自治事務ではなく、
法定受託事務として取り組む。

問 対象児童は令和4年3月
31日生まれとあるが、同学年
の4月1日生まれまでを対象
とし、町単費で対応すべきで
は。

答 3月31日で区切らないと
制度的に難しい。

問 高校生への支給を早めて
ほしいがどうか。

答 1月末までには支給する
スケジュールだ。

問 今回の10万円一括給付に
ついて、国ではまだ審議中で
はないのか。

答 先行ではあるが、山際大
臣や首相の国会答弁を担保と
して上程した。



仲良し兄弟

皆さまから寄せられた**請願・陳情**の審査

委員会レポート

さまざまな、町の**問題・課題**の改善、対策を議論します。



総務建設

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないように求める陳情書

太平洋戦争末期に我が国唯一の地上戦の地となった沖縄では、未だに全ての民間人、兵士の遺骨が収集されずにいます。

沖縄戦で亡くなった、24万1593名が刻銘されている「平和の礎」がある糸満市摩文仁の平和記念公園一帯は、戦没者の霊を慰め戦争の悲惨な記憶を後世に伝えるために日本で唯一、自然公園法に基づき「沖縄戦跡国定公園」として指定されており、同地区には、沖縄戦で犠牲を強いられた方々の遺骨が今なお残されておりあります。

そのような特別な配慮が求められる地域の土砂を日本政

府は建設資材として埋め立てに使用する計画を進めていますが、人道上許されるものではありません。

従って、日本政府に対し遺骨が混入した土砂をあらゆる埋め立てに使用しないことと、「戦没者の遺骨収集の推進に関する法律」により日本政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施することの内容の意見書を国に提出することを求めているものです。

審査結果

本陳情は、明確な担当部署がないことや基地の建設を反対しているのか、遺骨収集の推進を求めているのかを陳情者に確認する必要があるとして継続審査とし、正副委員長で事前に陳情提出人から主旨を確認しました。

陳情者からは「基地の建設に中止や反対を求めるものではなく、純粹に遺骨収集の推進と遺骨を含む土砂を利用し

ないことを要請するものである」との回答を得ています。

委員からは「大戦で犠牲になった人々の遺骨が入った土砂を建設資材として使用することは人道上許されない。遺骨の収集を推進すべきである」との意見でまとまり、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出するにとしました。

委員長 石岡実成



美しい沖縄の海

教育民生

介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情

超高齢化を迎える中で、介護の人材確保・離職防止対策

は喫緊の課題となっている。人材不足の主な原因は、過酷な労働実態と社会的な役割に見合わない低賃金である。

今般のコロナ禍では法定の配置基準で対応することは到底不可能であり、人材確保対策として始まった外国人介護労働者の受け入れも、労働環境の改善が進まなければ、今と同じ状況になることは容易に想像できる。

よって、介護制度の真の持続性を確保するために、意見書の提出を求めているものです。

審査結果

「令和3年度、若干の介護報酬改定はあったものの、まだ足りていない。人員基準だけ引き上げられると施設に負担がかかるため、介護報酬の引き上げを前提とした人員配置基準の引き上げを求めるべき」との意見でまとまり、採決の結果、全会一致により採択し、国と県に対し意見書を提出することとしました。

安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情

このコロナ禍で明らかにな

ったことは、感染症対策を中心的に担う公立・公的病院の役割の重要性、および感染症病床や集中治療室の大幅な不足、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所・保健師の不足である。国民のいのちと健康、暮らしを守り、新たなウイルス感染症や大規模災害などの事態に備えることが喫緊の課題となっている。

よって、国民が安心して暮らせる社会実現のために、国に対し意見書の提出を求めているものです。

審査結果

「町独自でできることは少ないものの、日本全体として捉えた場合、採択し意見書を提出すべき」との意見でまとまり、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出することとしました。



社会保障の充実を求めるパンフレット

精神保健福祉の改善に関する陳情

精神科を受診する人は年間420万人に迫っており、誰でも安心して気軽にかかれる精神科医療の充実が、国民的な課題となっている。

しかし日本では、地域生活を基盤とした諸外国とは異なり、施設療養中心となっている。一般病院に比べ診療報酬は低く抑えられ、施設内の医療スタッフの体制も半分以上と極めて少ない状況である。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大に対応したメンタルヘルス対策も、喫緊の課題である。

よって、誰もが地域社会で安心して暮らし続けられるよう、国に対し意見書の提出を求めているものです。

審査結果

「陳情趣旨にある『誰でも安心して気軽にかかれる精神科医療の充実』はまさに目指すべきところであり、人権尊重の観点からも採択し、意見書を提出すべき」との意見でまとまり、採決の結果、全会一致により採択し、国に対し意見書を提出することとしました。

国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

審査結果

一括審査の結果「葉山町では40%近くが私立学校に進学しており、また学費補助制度は令和2年度から変更がないことを鑑み、両陳情とも採択し意見書を提出すべき」「資源の少ない日本において、教育は非常に重要である。保護者負担なく教育を受けられるよう、両陳情とも採択し意見書を提出すべき」との意見でまとまり、採決の結果、どちらも全会一致により採択し、意見書を提出することとしました。

所管事務調査

中学校給食について

サウンディング型市場調査により、親子方式では施設改修等の初期投資に5400万円、ランニングコストは5年で2億9300万円、デリバリー方式では初期投資4300万円、ランニングコスト3

億5500万円という概算が出されました。その結果を受け、町は「上山口小学校から中学校2校へ保温給食を配送する親子方式」を選択することに決定し、当初予算に計上することの報告を受けました。委員からは「近隣住民への説明会を急ぐべき」「5年の暫定期間が終わっても給食センターが完成していなかったらどうするのか」等の意見がありました。

委員長 荒井直彦



上山口小学校給食調理室

議会広報

議会改革

検討を終了した項目
 ● 町民との意見交換会をワールドカフェ方式やズーム会議

などで行うことは、今後も実施していくこととしました。

● 広報委員の1年交代制は、他委員会が既に2年交代制であることから、見送りました。

「(携帯品)第102条 議場に入る者は、帽子、外とう、襟巻、つえ、かさの類を着用し、又は携帯してはならない。ただし、病気その他の理由より議長の許可を得たときは、この限りでない。」を「(服装及び携帯品)第102条 議場に入る者は見苦しくない服装をしなければならぬ。また、議長は、携帯品の所持の制限をすることが出来る。」に改めます。

● 議会外傍聴者への一般質問資料の見える化については、検討が進んでいます。

下田市との情報交換

友好都市提携に向けた表敬訪問を令和3年12月21日に受けました。

議会運営

議会改革

● 本会議場の音響の改善については、令和4年度予算で議場全体の改修を要望します。

委員長 飯山直樹

● 傍聴規則の改正

「静粛にしていることができない乳幼児又は当該乳幼児を連れてくる者」「帽子、外とう、えり巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合は、この限りでない。」の2項目を削除しました。

● 会議規則の改正

新型コロナウイルス対応



下田市議会議員との集合写真

新型コロナウイルス感染防止のため、しばらくの間、視察等の受け入れを断っていましたが、緩和することになりました。

委員長 金崎ひさ

第4回定例会表決結果 全会一致の議案等		結果	関連記事
議案第47号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第5号)	可決	P3
議案第48号	令和3年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	-
議案第49号	令和3年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	-
議案第50号	令和3年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	-
議案第51号	令和3年度葉山町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	P4
議案第52号	葉山町一般職の職員の給与等に関する条例及び葉山町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P4
議案第53号	葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P4
議案第54号	葉山町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	可決	P4
議案第55号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第6号)	撤回許可	-
議案第56号	令和3年度葉山町一般会計補正予算(第6号)	可決	P4
議会議案 第3-7号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないように求める意見書	可決	P8
議会議案 第3-8号	葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	P4
議会議案 第3-9号	介護施設の人員配置基準の引き上げを求める意見書	可決	P8
議会議案 第3-10号	特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)等の人員配置基準の条例改正を求める意見書	可決	P8
議会議案 第3-11号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、国民のいのちと健康を守るための意見書	可決	P8
議会議案 第3-12号	精神保健福祉の改善を求める意見書	可決	P8
議会議案 第3-13号	国に私学助成の拡充を求める意見書	可決	P8
議会議案 第3-14号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書	可決	P8
議会議案 第3-15号	出産育児一時金の増額を求める意見書	可決	P8
陳情第3-14号	沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を埋め立てに使用しないように求める陳情書	採択	P5
陳情第3-15号	介護施設の人員配置基準の引き上げのために、国に対し意見書の提出を求める陳情	採択	P5
陳情第3-16号	安全・安心の医療・介護・福祉を実現し国民のいのちと健康を守るための陳情	採択	P5
陳情第3-17号	精神保健福祉の改善に関する陳情	採択	P6
陳情第3-18号	国に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採択	P6
陳情第3-19号	神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	採択	P6



議会災害対策本部への報告アプリ

葉山町公共下水道業務継続計画、葉山町業務継続計画について、担当職員より計画策定工程の説明を受けました。

リーダー 土佐洋子

12月7日

災害時における議会の役割、先進議会の大規模災害時の議員行動マニュアル、コロナ禍における議事運営について研究を行いました。

11月25日

議会
策定
BICM
チーム

介護施設の人員配置基準の引き上げを 求める意見書



介護の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題である。改善するためには「人員配置基準」の引き上げと、介護報酬でその費用を担保することである。制度の持続性確保のため、次の事項について対策を講じられるよう要望する。

- 1 人員配置基準省令について、「利用者2人に対して1人以上」に引き上げること。
- 2 夜間勤務者の配置基準を引き上げること。また、一人夜勤は解消すること。
- 3 上記の項目を保障するため、介護報酬の引き上げを行うことと、国の負担割合を大幅に引き上げること。

精神保健福祉の改善を求める意見書



精神科を受診する人は年々増加しており、精神科医療の充実が課題となっている。誰もが安心して暮らし続けられるよう、次の項目について対策を講じるよう要望する。

- 1 精神科専門職の配置人員を引き上げるとともに、医療法施行規則を改め、精神病床の人員配置を改善すること。
- 2 早い段階から適切な支援と治療を受けることができる支援体制の整備を行い、差別・偏見をなくすための啓発を進め、施策には当事者・家族の声を反映させること。
- 3 入院中心から地域への移行を円滑に進めるために、精神保健福祉予算の拡充や労働者の雇用保障・教育・研修を行うこと。
- 4 新たな生活様式に対応したメンタルヘルス対策を早急に講じること。

国に私学助成の拡充を求める意見書



「授業料実質無償化」となるよう、また年収590万円以上世帯の学費負担軽減、私立高校の学費負担の自治体間格差解消のためにも、年収590万円未満世帯への前年度授業料平均額の支給、授業料無償化世帯の拡大、支給対象拡大が求められる。学ぶ権利の保障のため、国に対し私学助成の一層の増額を要望する。

神奈川県に私学助成の拡充を求める意見書



神奈川県の制度は、東京都や埼玉県と比べると見劣りする。私立学校に通う児童生徒の保護者負担を軽減し、私立学校の教育条件を向上させ、子どもたちの学ぶ権利を保障するため、私学助成の拡充を強く要望する。

沖縄戦戦没者の遺骨等を含む土砂を 埋め立てに使用しないように求める意見書



当該地域の土砂を、建設資材として埋め立てに使用する計画を進めているが、人道上、到底許されるものではない。次の事項を速やかに実現することを強く要望する。

- 1 沖縄南部地域の土砂を埋め立てに使用しないこと。
- 2 政府が主体となって戦没者の遺骨収集を実施すること。

特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)等 の人員配置基準の条例改正を求める意見書



介護の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題となっている。県においては、介護労働者の労働環境の改善を図るため、次の事項について介護施設の人員配置基準を条例改正するよう要望する。

- 1 特別養護老人ホーム等の人員配置基準を、実態に見合った水準まで引き上げる改正をすること。

安全・安心の医療・介護・福祉を実現し、 国民のいのちと健康を守るための意見書



コロナ禍により、感染症対策を中心的に担う公立・公的病院の役割の重要性、および感染症病床や集中治療室の大幅な不足、医師・看護師・介護職員の人員不足、保健所・保健師の不足が明らかとなった。

新たなウイルス感染症や大規模災害などの事態に備え、国民が安心して暮らせる社会実現のために、次の項目について対策を講じるよう要望する。

- 1 安全・安心の医療・介護・福祉提供体制の確保。
 - ①医療・介護職員等を増員し、夜勤改善等、勤務環境と処遇を改善すること。
 - ②病院の再編統合や病床削減方針を見直すこと。
- 2 保健所の増設など公衆衛生行政の体制を拡充し、保健師等を増員すること。
- 3 社会保障・社会福祉にかかわる国庫負担を増額し、75歳以上の窓口負担2倍化を中止するなど国民負担を軽減すること。

出産育児一時金の増額を求める意見書



少子化克服に向け、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるためには、子どもの成長に応じた、きめ細かな支援を重ねていくことが重要であり、一時金はその大事な一手であると考えられる。

現在の負担に見合う形に出産育児一時金を引き上げることを強く求める。

議員懇談会
町長召集により開催

真名瀬駐車場及び南郷上ノ山公園駐車場料金

真名瀬駐車場は夏場や土日のピーク時には入場待ちの車列が近隣の迷惑となり、再三警察からも改善要求がありました。よって、近隣駐車場との料金格差を是正するため利用料金の値上げを行うとのことです。令和4年7月1日からの改定を予定しています。料金に関して議員からの提案もあり、さらに検討を加え、議案上程することです。

南郷上ノ山公園駐車場の有料化は、さまざまな観点から一旦立ち止まり、検討を加えていくとのことでした。



真名瀬駐車場

都市計画課管理公園の整備方針（素案）

特色のある公園への転換と他の利用可能性の検討を加えた公園の有効な活用の方針を策定することです。地域住民と十分な協議を行い、それぞれの地域の実情に見合った公園が、バランスよく町全体に配置されるようにとの要望もありました。



- 公園内の施設数
- ・遊具 94個
 - ・砂場 11箇所
 - ・ベンチ 151個(内背伸ばし14個)
 - ・水道 32基
 - ・園灯 83基(うち48基)
 - ・トイレ 4棟
- (令和3年4月1日時点)

- ・宅地内の提供公園が多い=それぞれの面積が小さい
- ・遊具についてもブランコ、すべり台、スプリング遊具がほとんど

町内公園の現状

葉山町耐震改修促進計画の改定（素案）

計画期間を令和4年度から令和12年度の9年間とする改正です。令和4年1月13日から2月14日までパブリックコメントが行われます。

特に重要な課題は、緊急輸送道路沿道の建築物の耐震化を早急に実施するための方策です。無電柱化も同時に促進するべきとの意見も出ました。



役場付近の電柱

逗子市との汚水処理施設広域化・共同化の協議

国土交通省や環境省などから「汚水処理の事業運営に係る『広域化・共同化計画』の策定について」との通達文により、施設の改築期を迎えている逗子市からの要請を受けて

て、広域化・共同化が可能なものの調査・研究を進めることとなりました。

南郷地区にある葉山町の汚水処理施設に、新たにトンネルを掘って、2系列4本の処理施設を建設することを前提として協議を行っていきます。今後発生する施設修繕費等の負担を共同で行うことにより軽減が図れることや、大きな課題である「葉山中継ポンプ場」の安全性を考慮して、50年100年先を見据えた、下水道事業の大きな転換点となります。議会としても、逗子市議会と合同での調査・研究を進めるべきではとの声もあがりました。



下水道基幹施設案内図

里山の魅力創造事業活動状況

大和ハウス工業株式会社所有地3カ所で行われてきた、棚田の復元事業や里山の環境に親しめる空間創造事業を、令和2年度以降は葉山町政策課が引き継ぐかたちで続いています。今後の展開も見据えて、土地所有者との連携・協力に関する包括協定が、令和3年11月17日に結ばれたとの報告がありました。



田植えの風景

令和3年度は「はやま里山スクール」と称し、年5回の田んぼの管理事業が行われており、大人気で定員がすぐに埋まったそうです。コロナが収束すれば募集定員が増やせることでしょう。

議長 待寺真司

今回は、12人の議員がそれぞれの想いで臨みました!!



町政を問う

一般質問は、答弁を含め、1人あたりの持ち時間は60分です。

掲載している内容は、質問者の原稿を基に広報常任委員会が編集校正したものです。会議録は、議会ホームページのほか、議会事務局、図書館でもご覧いただけます。



一般質問

各議員の枠内右下にあるQRコードを読み取ると議会本会議での一般質問の動画を観ることができます。また、過去に遡った質問動画もご覧いただけます。



葉山町議会

荒井直彦

南郷上ノ山公園で
得た収入の利用先は

町長
南郷上ノ山公園で使う



近藤昇一

逗子市の汚水処理を
葉山で行うのか

環境部長
協議の申し入れがあった



南郷上ノ山公園の調整池の活用
問 調整池の機能を持たせながら、活用できないか。

都市経済部長 まず、適正に管理をすること。一般的には、平素はほとんど水が貯まっている訳ではないので、何らかの施設なり活用することも視野の一つに入れて検討したい。

問 目的外使用で収入のあった1500万円は、南郷上ノ山公園で施設の充実に使うべきと思うが。

町長 東京電力の鉄塔の取替工事の関係で、特に利用者の方々に迷惑をかけている。理由の伴った使いみちができればいいと思う。

問 第2駐車場からの歩道の整備の状況は。
都市経済部長 いくつかの整備の方向を考えている。

ている。

問 前向きに改修する検討をしているのか。
都市経済部長 子どもたちも通るので交通安全の面から措置をしていきたい。

小学校の建替えと町民体育館
問 老朽化した公立学校の改修の現在の国の補助率は3分の1であるが、令和4年度はどのような状況か。

教育部長 文部科学省の令和4年度の概算要求では、同じ建物に福祉施設など集約する場合は補助率を2分1に上げるという要求をしている。今後、国会等の動きを注視していく状況だ。

問 町民体育館についての検討は。
教育部長 公共施設の将来のあり方を検討する中で、新たなスポーツ施設についても同様に検討していく。



南郷上ノ山公園の調整池

問 葉山町の汚水処理場の横に、逗子市の汚水処理場建設の可能性調査の依頼が逗子市からあったのか。

環境部長 広域化・共同化を行うよう国から要請され、逗子市より協議の申し入れがあり、連携して可能性の調査を行うこととした。

問 逗子市の公共下水道は一部で合流式を採用している。大雨の際には処理せずに放流すると聞いているが、改善されるのか。

環境部長 オーバーフローした分は逗子市で処理してもらうよう考えている。

問 葉山町のメリットは。
環境部長 調査を行ってみたいと結果は見えないが、町単独で事業を継続していくには多くの経費が想定される。国からも下水道使用

料の値上げを迫られているが、共同化によって低く抑えられる可能性もある。

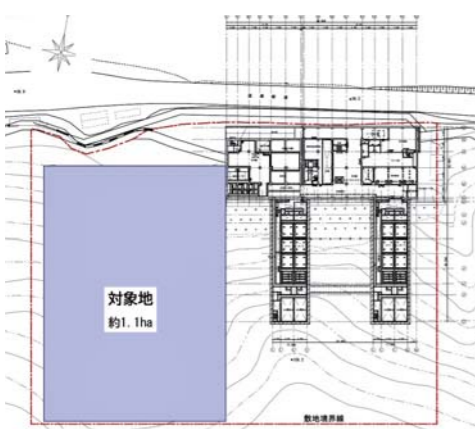
問 住民の合意が大前提だ。早い段階での説明が必要ではないか。

町長 令和4年度以降に調査を行い、その結果をもって説明したい。

国民健康保険制度について
問 保険証の未更新はあるのか。

福祉部長 短期証の23世帯43人分の保険証が未達になっている。順次訪問している。

問 保険料算定の際の子どもの均等割をやめるべきと主張していたが、国は4年度から未就学児に限りやめる方針を示した。しかし、全国知事会、市長会、町村会から「せめて18歳まで」との意見が上がっている。独自にやめている自治体もある。葉山町の対応は。
町長 町村会を通じて要求しているが、町の財政の状況も厳しいので、しばらく様子を見ながら対応したい。



葉山浄化センター平面図

石岡実成



役場敷地内に
屋外喫煙所の設置を

総務部長

町長以下、具体的に
検討を始めている

敷地内に喫煙所の設置

問 町職員の喫煙率は。

総務部長 令和元年に実施した職員アンケート調査では、369人中74人、約20%が毎日、または時々吸うという回答結果になっている。

問 実際の町の禁煙推進サポーターの状況は。

総務部長 禁煙に関する研修を実施しているが、参加者も少なくあまり機能していない。

問 庁舎裏手で職員が喫煙している状況を認識しているか。また、どう思っているか。

総務部長 正式な実態調査をしているわけではないが、町民の方からの指摘や周りからのうわさのレベルでは認識している。

問 受動喫煙や見映え、環境の問題からも、現状のままでもいいと思っているのか。

飯山直樹



幼保育無償化対象外
施設への救済措置を

福祉部長

さまざまな協議を進める

問 葉山が憧れの住みたい街であり続けるために、継続的な住環境の整備が必要。都内通勤者向けにリモートワーク環境整備を。

政策財政部長 家庭のリモートワーク環境整備支援など、関われるところを検討する。

問 楽しく気ままな暮らしを求めて葉山に移住する方が多い。レジャー環境のバックアップを推進すべきでは。

政策財政部長 山も楽しい葉山として、里山プロジェクトに力を入れる。

問 町の高齢化が進み、近所に大病院があるのと心強い。コロナで病床拡大のチャンスなので、セカンドライフの安心のために総合型病院計画への関与を。

福祉部長 近隣自治体における共通の課題として、共同して協議していく。

中村和雄



GIGAスクール事業に
令和4年度勝負をかけて欲しい

町長

教育長の要求には、
覚悟を持って受け止めたい

GIGAスクール構想

問 令和4年度のICT支援員の配置は。

教育部長 導入初年度は、不足する部分もあったかと思うが、4年度は今年1年間の実績があるので、3年度並みで対応したい。

問 ICT教育の導入によって、児童・生徒間の教育格差、自治体間の教育格差が拡大しないかと心配だが、どうか。

教育長 主体的・対話的で深い学びを実現するのが一つの目標。パソコンをうまく使うことで、児童・生徒間の格差がこれまでより生まれにくい状況になる。より良い形で、一人ひとりが物を考えられる方向を目指していきたい。自治体間格差については、町長部局とも相談しながら対応していきたい。

総務部長

敷地内全面禁煙とすることによって、結果的に法律を破る形になってしまおうという実態は、このままでは良くない、看過するべき問題ではないと認識している。

問 理想と現実を踏まえ、しっかりとした屋外喫煙所を設置すべきでは。

総務部長 JTの方を交え、いろいろと検討している。貴重な財源を有効に活用するという前提で対応を図っていく。

GIGAスクール構想のデメリット

問 タブレットやスマホを多用することで、脳の発達への妨げ、学力や視力の低下など問題視されている。デジタルとアナログの上手な組み合わせで教育を進めてほしいが。

教育長 主体的、対話的で深い学びをやっていく中の一つのツールとして、また、*デジタルシナジーズの考え方で教育を進める。

*インターネット利用にかかる主体的な教育
その他の質問 消防団員の増員、応急手当普及員講習、マイナンバーカード



コンテナ喫煙所 (株式会社RJより)

地域における小学校就学前の子どもを対象とした
多様な集団活動事業の利用支援(案) 抜粋

- 1. 支援対象経費**
幼思教育・保育の無償化の給付を受けていない、本事業の要件を満たす施設等を利用する満3歳以上の幼児の保護者が支払う利用料・などの施設等でも共通的に徴収している、いわゆる保育料。
- 2. 基準額**
対象幼児1人当たり月額 20,000円
ただし、利用する施設等の過去の3か月の平均月額利用料が20,000円を下回る対象施設等を利用する幼児は、当該平均月額利用料。
- 3. 給付方法**
市町村等から保護者に直接給付する。 など

幼保育無償化補完事業



GIGAスクール構想

問 葉山は県下一頑張っているなど評価されるよう、4年度予算でこの事業に勝負をかけて欲しいが。

町長 教育長からの要求に対しては、覚悟を持って受け止めたい。

クリーンセンター再整備事業

問 共同事業者の逗子市は、収集方法をどう考えているか。

環境部長 最終的にどうするか聞いていない。

問 整備費用の分担割合を潜在排出量で算定するか搬入量で算定するかで、逗子市の取り組み姿勢が違ってくると思うが。

環境部長 搬入量に応じた負担が、落としどころではないかと考えている。

問 生ごみの分別率70%は高すぎる。町民・市民にとって、生ごみ週1回、可燃ごみ週1回の収集ではサービス低下だ。逗子市の対応次第で、日量10tの処理規模は過大では。

環境部長 施設規模は妥当だと思う。

伊藤航平



小中一貫校の道筋は

教育長
意見を聞きながら詰めていく

問 20〜30年先の公共施設のあり方を考える上で、学校施設も含め検討する必要がある。町民体育館などの施設整備も同時に考えていくことも必要かつ合理的で、公共施設整備の改修・新築では30億〜40億円の資金が必要なことから、町の財政面から考え、施設統合や小中一貫校・町有地の有効活用・官民連携の事業など、町財政を増やす、または生み出すことも必要である。町有地の民間活用は全国の地方都市で進んでいて、反対に民間地の行政使用もある。小中一貫校では、学年・クラス数・校舎利用や校庭利用・通学路・学区も検討を行い、校舎の規模や新設・改修も必要であり、現在の給食センター整備を考えれば小中一貫校の方向性は変わってくるのではと



上山口小学校

考える。小中一貫校によって統廃合する小学校の空き校舎や保健センター・図書館など統合型公共施設再編を目指すことで特色ある町の事業発信の場を作ることもでき、道の駅や宿泊体験施設・ワークショップスペース・シェアオフィス・イベントスペースなどが確保できる。公営住宅のあり方も見直し、移住定住促進のサポート事業を打ち出しUR都市機構などの民間との連携も模索してはどうか。
町長 健康と学びの分野として一定は保たれている。今後の統廃合の議論の中で、地域の伝統や歴史は欠かせない。転化する可能性はあるが重要な拠点として必ず残していく。
教育長 6校の学校をどのような形にしておくかは意見を聞きながら詰めていく。ハード面の部分ではなく、まずは教育理念の話を共有していき、令和7年の段階で小中一貫校一つは作る。南郷中と長柄小が何かしらの形で小中一貫校になる。

鈴木道子



子宮頸がんワクチン接種の厚労省勧奨通知への対応は

町長
対象者への個別勧奨実施を進める

子宮頸がんワクチン接種
問 平成25年4月に、小学校6年から高校1年の女子を対象に無料で定期接種化されたが、副反応を訴える方がいたことから、厚労省は積極的勧奨を中止していた。WHOからの勧奨も出ており、昨今、厚労省は積極的な接種勧奨を再開した。最初の無料化接種から8年以上の空白期間が出ている。機会を逸した年代については公費での接種ができるそうだが、令和4年4月から順次開始すること、周知など速やかに個別通知をすべきだが。
福祉部長 令和3年4月には755件に通知した。積極的勧奨の通知は800件程度だ。空白期間の対象者は国の指示に従い、適切な対応を速やかに図っていく。



令和3年のコロナワクチン接種会場

問 コロナワクチンの3回目接種について、転入転出者への対応はどうか。
福祉部長 国管理のシステムがあり、履歴を確認し自治体間の必要な連携をしっかりと行う。
問 「子ども・子育て支援交付金」について、令和4年度についてはこれから申請するのか。
福祉部長 申請に向け検討を重ねている。
生理の貧困対策
問 「生理の貧困対策」について、3月の申し入れに対しての速やかな対応を評価。今後は学校トイレ個室への配備を目指すべきだが。
教育部長 養護教諭などで、検討していく。
問 選挙投票所の夜間照明を明るくすべきだ。また、期日前投票所の消防署への階段に手すりを設置すべきだがどうか。
選挙管理委員会委員長 改善に努める。
その他の質問 通学路の安全対策・美術館等の活用・児童虐待防止への対応・乳幼児突然死防止への対応・資源ステーションの状況

窪田美樹



使い捨て容器削減協力要請は

町長
量り売りの協力要請をした事もある

問 町として環境に配慮した事業展開は。
町長 電力の再生可能エネルギーへ切り替え等で、町全体の温室効果ガス削減に繋げたい。
問 町内店舗に使い捨て容器削減協力要請は。
町長 量り売りの協力要請をした事もあるが、消費者目線から衛生面の問題等、難しい局面もある。再度、相談は行なっていきたい。
歳を重ねても暮らし続けられる町づくり
問 介護者が病気等の緊急対応として施設に確保費を支払い、要介護者のベッド確保をしている自治体もある。町も確保が必要では。
福祉部長 ショートステイの利用は増えている。緊急時対応には悩む部分だ。検討したい。
小中一貫教育の進捗状況
問 南郷中と長柄小で小中一貫教育への取り



容器包装の回収場所

組みが始まっているが、町全体の計画状況は。
教育長 令和7年度までに現校舎を利用した施設分離型の小中一貫校の開設が目標だ。
問 施設の老朽化もあり将来的には統廃合も見えてくる。町全体で考える必要があり、町民への情報発信はどの段階で行なうのか。
教育長 理念的なところを先行し、現在、統廃合へのレールは敷いていない。分離型小中一貫校ができていった段階で施設の話になっていくと思う。令和7年がひとつの節目だ。
病後児保育への取り組み
問 保育園利用者にチラシ等、案内の周知は。
福祉部長 現在、積極的には行っていない。
問 情報発信を。利用時に必要な医師連絡票が有料だ。無料の自治体もあり早急の対応を。
福祉部長 状況を調査し、方向性を決めたい。
問 子ども子育てアンケートにも病児保育や24時間緊急時保育を求める声があり状況は。
福祉部長 検討する方向性は持っている。

笠原俊一



ごちゃまぜの体験教育は

教育長
地域や学年合わせて
取り組みたい

問 海や山の体験や町の文化や自然を利用したごちゃ混ぜの体験教育はできないか。
教育長 4小学校が分散しているのが現状だが、自然教育については地域性や学年もごちゃ混ぜの教育に取り組みたい。町の文化育成についてもしっかり行いたい。
教育部長 山の体験は上山口小学校、自然の中での体験は長柄小学校が中心だ。

住民環境変化

問 コロナ禍、総合計画記載の社会情勢の変化によるまちづくりのために、生活様式の変化の調査・分析はしたのか。
総務部長 町民アンケート調査、実態調査は行っていないが、テレワークの実態は各所管が住民等と接する中で、個別具体、町職員や

他団体の調査等から把握している。また、東京都の令和3年8月都内の30人以上規模の企業調査からテレワークの実施率は65%、6割を超える企業のテレワークの実施がある。国勢調査で約1万人が、通勤で葉山から出ている結果から、現在は一定割合の方の昼間人口増と考える。
政策財政部長 第五次の総合計画は、基本構想から作るのでアンケート調査が必要。その中で現況分析や情報収集に務める。
問 リモートワーク支援に役場等の公共施設利用はできないか。

町長 拠点整備は有意義なことだが、各施設の老朽化や対応等の課題解決が難しい。民間活力を含めた方策を行いたい。さらに、役場全体の有効活用やその他の公共施設の有効活用についてはいつも考えている。



くにおき 大分県国東市の海洋学習 (国東市より)

土佐洋子



消防と民間団体との協力は

消防長
人命救助に力を入れたい

問 水難救助事案で、消防本部から民間団体に緊急出動の依頼をし活動したのか。
消防長 民間団体と協力して捜索にあたった。その後、民間団体との訓練をし、今後とも細かい訓練をして人命救助に力を入れたい。
問 民間との連携を行いIRBとPWCのそれぞれの良さを生かして海での事故、死者などをなくすことを目指してほしいが。
※IRB・レスキューゴムボート
※PWC・水上オートバイ

消防長 人命を最優先と考えると、いろいろな団体と協力して人の命を救うということでは志は同じだ。今後もその方向で検討したい。
問 緊急出動の際、PWCが真名瀬漁港を使用した。再び緊急出動のときに真名瀬漁港

で対応ができるという認識で良いか。
消防長 これから細かく協議をしていく。

問 SUPの事故対策は。
町長 横須賀海上保安部と来シーズンに向けて、安全対策等の話し合いを始めている。

問 多くの皆さまに天気予報や118番通報を知ってほしいと思うが。
都市経済部長 気象をチェックして海に入ることを徹底させたい。

地域医療体制の充実

問 さまざまなワクチン接種の対応は。
町長 新型コロナウイルスワクチン接種の3回目は、令和4年2月頃から一般町民への実施を目指して準備中だ。インフルエンザは希望する人が接種を受けられるよう、状況把握に努める。肺炎球菌は十分にワクチンが供給され、接種を希望する人が接種を受けられる体制だ。

問 コロナワクチンの3回目接種でも集団接種や巡回バスなどを考えているのか。
福祉部長 当初から医療機関での個別接種を予定しているの、バス運行はしない予定だ。



消防と合同で活動する民間PWCの団体 (真名瀬漁港にて)

金崎ひさ



実証実験による
生ごみの総量は

環境部長
計量していない

問 生ごみ分別収集実証実験が令和3年10月から上山口地区で始まっているが、これまでに排出された生ごみの総量は。
環境部長 量っていないので、分からない。
問 なぜ、量らなかったのか。
環境部長 こちらの都合で他地区も回るコースでの収集があり、上山口地区だけの分量が量れなかった。

問 何のための実証実験なのか。生ごみ分別収集により1億円/年削減とあるが総量の計測なくしてその根拠はどこに見出すのか。
環境部長 93軒の生ごみを月1回抽出し、計量その他の分析をし、推計するつもりだ。
問 協力世帯833軒にいかん説明するのか。
町長 詳細を把握していないので、確認する。

危機管理

問 コロナ対策で体験したことや文章に残し、次に備えるべきと思うが。
福祉部長 対策本部の議事録はある。ワクチン接種も後世に残せるものとして引き継ぐ。

問 児童・生徒の交通事故が重なり、信号やダイヤマークなどまだ改善されていないが。
教育部長 引き続き要望する。

問 電線地中化計画が必要と思うが。
町長 道路河川課で作成中だ。

問 給食センター予定地の盛土の安全性は。参事 熱海の事故を踏まえ、設計を模索している。と聞いている。

問 町内の浸水等の状況を知らせる手段は。
総務部長 きめ細かな制度は持っていない。

問 町民との協働で定期的開催する危機管理に関する委員会の設置を。
町長 まずは自分自身が気を引き締めて、その委員会の機能として働く。



生ごみ分別戸別収集

山田由美



議員研修会

緑化ブロックに関する規則改正は
都市経済部長
今、明文化する作業中だ

まちづくり条例と施行規則

問 駐車場を使用する緑化ブロックの面積を緑化率に算入しないよう、規則の改正をする約束だったと思うが、その規則を文書でいためるか。
都市経済部長 まだ明文化していない。
問 明文化せずに運用しているのか。
都市経済部長 実際の協議の中で試し、いけると判断した。今、明文化する作業中だ。
問 条例に、盛土の規制を盛り込む考えは。
都市経済部長 数値で規制するのは難しい。
問 開発業者が住民説明会を開く時、出席者を制限する権利があるのか。希望する町民や議員は、出席してもよいのではないのか。
都市経済部長 出席する権利はある。

問 葉山環境文化デザイン集団から町への、条例に関する提言についての回答は。
都市経済部長 代表の方と相談したい。
問 町は条例改正を中・長期の未来のことと考えているのか。
都市経済部長 必要に応じてだが、そうだと
思う。

中学校の制服

問 選択の自由があるのに、スラックスの女子生徒をほとんど見ない理由は。
教育長 葉山の制服の自由度は高いので、これからも周知する。

学校図書室

問 蔵書の更新予算は足りているか。
教育部長 各校2万冊前後の蔵書で、年間20万円程度の予算だ。
問 その予算では足りないと思う。町民に対し、本の寄付や募金を願ってはどうか。
教育長 ご意見として承る。



住宅の増えた葉山町

令和3年度のテーマは「人権と差別について考える」とし、3回シリーズの研修会です。新型コロナウイルス感染症の蔓延が、感染者やそのご家族、医療従事者に対する差別や人権の侵害につながったのは最近の出来事です。外国につながる人々への誹謗中傷は止まず、東京オリンピック開催をめくり、日本人の人権に関する問題が噴出したところ。そのような中で、議会においても部落差別につながる発

県町村議会議長会研修会

11月18日

「渋沢栄一の『論語と算盤』で未来を拓く」
講師 渋澤 健氏(故渋沢栄一氏の玄孫)
近代銀行制度を確立した、故渋沢栄一が提唱した「合本主義」についての話から、表題の『論語と算盤』の話題へと移りました。論語と算盤は甚だ遠くして甚だ近いものがあるが、企業経営の基本的

な理念に通ずることです。企業の経営者が大富豪になっても、そのために社会の大多数が貧困に陥るのなら、その幸福は継続されない。また、正しい道理の富でなければ、その富は永続することができないと説かれました。
この件で思い出したのが、和歌山県広川町の「濱口梧陵記念館」にある「経世済民」

です。「世の中を治めるものは、民衆を苦しみから救うのだ」まさに私費を投じて巨大な堤防を築き、多くの民衆の命と生活を守った濱口梧陵先生の生きざまを強く感じました。
経済の語源である「経世済民」と、テーマの『論語と算盤』には、経済一辺倒で何かを忘れかけている現代への深い訓えがあると思いました。

言があり、改めて議会全体で人権と差別についてしっかりと学び、今後の議会及び議員活動に役立たせて参ります。
第1回研修会 10月22日
「被差別部落の歴史と現状」
講師 久保田 宏氏
神奈川部落史研究会副会長
第2回研修会 11月18日
「部落差別問題の現状と課題」
講師 根本 信一氏
部落解放同盟神奈川県連合会委員長
2回にわたる研修会において、未だに日本社会に根強く残っている「被差別部落」の歴史的な成り立ちから、今日



研修会講師

のネット社会における差別助長を拡散する事件など、多岐にわたり教えをいただきました。

意見交換会

葉山芸術祭実行委員会と、11月15日にリモートで意見交換会を行いました。

コロナ下での開催と令和4年第30回の記念開催

● コロナ下の令和3年は参加企画数約50と例年の半数ほどで、オンラインと屋外で実施した。森山神社イベントは許可が必要なため未実施。
● 令和4年は記念開催とし、町・県・他団体との連携を目指したい。内容としては、特に子どものためのアートとメディアアートを2つの柱とし、メディアアートは写真に特化する。
● コロナの第6波が来ても対応できるようにすすめる。また議会向けガイドツアーも実施したい。

参加議員からは、ガイドツアーのアウトライン、予算要望の内容、開催期間、竹あかり展での協力、逗子アートフェスティバルとのコラボについてなどの質問・意見がありました。

子どもへの町民アート教育

● 子どもたちがアートを体験できる場は重要で、通年でやりたい。提供コンテンツとして親子参加などで人気がある竹あかり展、ドリルを使った工作、影絵のワークショップ、美術館訪問や、学芸員の移動教室などを考えている。
● 「子どもプロジェクト(仮称)」でコミュニケーションのネットワークを構築し、情報発信する。
● 実施に際し材料費などがかかるので、町の機材の貸し出しなど協力してほしい。

アーカイブ機能を備えた市民ギャラリー

参加議員からは、具体的な機材のリスト、美術館訪問に関し、小中学校の美術教員への声かけ、通年アート教育のイメージなどについて、質問・意見がありました。

今後の対応

参加議員からは、常設コーナー設置の具体的な方法、複合施設との関係などについて質問・意見がありました。

意見交換会を通して受けた要望は、議会と町に振り分け町への要望については、議長を通して町長に提出します。
※詳細はホームページに記載予定です。



Zoomによる意見交換会

表紙説明

空気の澄んだ真冬の葉山では、対岸の伊豆半島の街明かりまで見えるほどの美しい景色が広がります。

特にこの季節に見える雪化粧をした富士山は、言葉では言い表せないほどの素晴らしい眺めです。

町内の年末年始の風景写真を選びました。



歳末火災特別警戒

町長行政報告

新型コロナウイルス感染症は、累計感染者数360人で、ワクチンの接種状況は1回目接種82・91%、2回目接種は82・04%の対象者が接種を終了しました。

今後3回目の接種は、町民健康課内の新体制にて対応します。



真名瀬漁港の大漁旗



歳末海上警戒

次回定例会は...

2/10 - 3/18 の予定です。

議案審議	一般質問	各常任委員会	予算特別委員会
2/10 (木)	3/15 (火)	3/3 (木)	2/21 (月)
3/14 (月)	3/16 (水)	3/4 (金)	2/22 (火)
	3/17 (木)	3/7 (月)	2/24 (木)
議会運営委員会	総括質問		2/25 (金)
3/8 (火)	2/17 (木)		2/28 (月)
	2/18 (金)		3/2 (水)

定例会のスケジュールは変更になる可能性があります。また、一般質問は質問者数によって日程が変動します。詳しくは議会ホームページにてご確認ください。



※新型コロナウイルス感染症対策として、本会議場及び委員会室での傍聴を調整・制限させていただきます。ご理解ご協力をお願いします。

議会本会議のライブ中継は、スマートフォン、タブレットでも視聴できます。



視聴はコチラ



議会ホームページのトップに Google カレンダーが入りました。

録音版議会だより

議会だよりは音声データを作成しています。ご希望の方は議会事務局までご連絡ください。

議会の最新情報は…ホームページをご覧ください!! <https://www.town.hayama.lg.jp/gikai/>

窪田 美樹	荒井 直彦	山田 由美	飯山 直樹	議長 待寺 真司
			鈴木 道子	議会広報常任委員会
	土佐 洋子	金崎 ひさ		

編集作業をしているなか、新型コロナウイルスのオミクロン株がじわじわと増加している報道があります。コロナ禍をはじめ大きく変化している世界状況は、葉山においても気になります。

年明けには、少しでも終息の方向であることを祈るばかりです。

国連難民高等弁務官を長年務められた緒方貞子氏の言われた「人間の安全保障」の意識が共有され、紛争や温暖化など地球規模の課題も含めた国際協力推進の重要性をひしひしと感じます。

葉山町議会定例会の内容を正確かつ分かりやすくお伝えできるように、委員全員で毎回工夫を凝らしておりますが、いかがでしょうか。

皆さまのご意見、ご感想もぜひお寄せ下さいませ。

令和4年も、引き続きお読みいただけるように、力を尽くしてまいります。

12月20日 鈴木道子 記

編集後記



●議会だより146号19ページ1段目の5行目、一般質問 石岡実成議員の間中【誤】葉山国際カントリークラブを【正】葉山国際カントリー倶楽部に訂正いたします。皆さまには、大変ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。